

FRANCO SERBLIN®

Goldberg

↑ ↑
Accordo
Goldberg

新たなる“調和”の力

2011年、今は亡き伝説的スピーカー・デザイナー、フランコ・セルプリンが世に送った2ウェイ・ブックシェルフ、“Accordo”。独特の曲線を描くその流麗なフォルム、そしてそこから奏でられる妙なる響きと緻密な表現力は音楽を愛する世界中の人々を魅了し、今なお銘品の名をほしいままにしています。

2020年、セルプリンとともに製作に携わってきたマッシミリアーノ・ファヴェッラは、“Accordo Essence”を発表、師の設計思想をフロアスタンディング型キャビネットに展開し、量感と力感、ダイナミズムという新たな価値を創造しました。そして今、“Accordo”と“Accordo Essence”それぞれの魅力は、新たなブックシェルフ、“Accordo Goldberg”に美しく受け継がれます。

その名は、セルプリンが、晩年にこよなく愛した“ゴルトベルク変奏曲”に由来します。「得も言われぬ美をたたえた、複雑にして完璧な作品」このJ.S. バッハ不朽の名作をそう評するファヴェッラは、師の愛した音の世界をつぶさにたどりながら、音楽の深層を表現しうるスピーカーのあり方を追求、その研究成果をこの新たな傑作に注ぎました。

“Accordo”、すなわち“調和”。繊細さと力、明と暗、激しさと優しさといった音楽のあらゆる要素をありのままに描き出し、そして調和へと導く、新たな傑作の誕生です。



Accordo
Goldberg



極上の音を奏でるために

“Accordo Goldberg”の高域を担うのは、“Accordo”、“Accordo Essence”でも採用されている29mm口径シルク・ソフトドーム・ツイーター。デンマークの優れたドライバー・ユニット・デザイナー、ラグナー・リアン氏によって設計されました。氏はセルブリンの長年の親友でもあり、緻密で澄明、艶やかな高域再生を可能にする氏の力量に絶大の信頼を置いていました。

中・低域を担うのは、サイズアップしたこのモデルのために新規設計された180mmの大口径コーン型。ダイアフラムを、従来のスライスト・ペーパー材表面にポリマー素材コーティングを施した“マイクロスフィア・コーン”としたことにより部分振動等の音質阻害要因を排し、複雑な音楽信号にも難なく応えうる強靱性と俊敏な応答性を両立、あらゆるジャンルの音楽を解像度高く再現します。また、新たに素材選定し、アルミニウム合金製としたセンターキャップも、歪みのない優れた応答性に貢献しています。

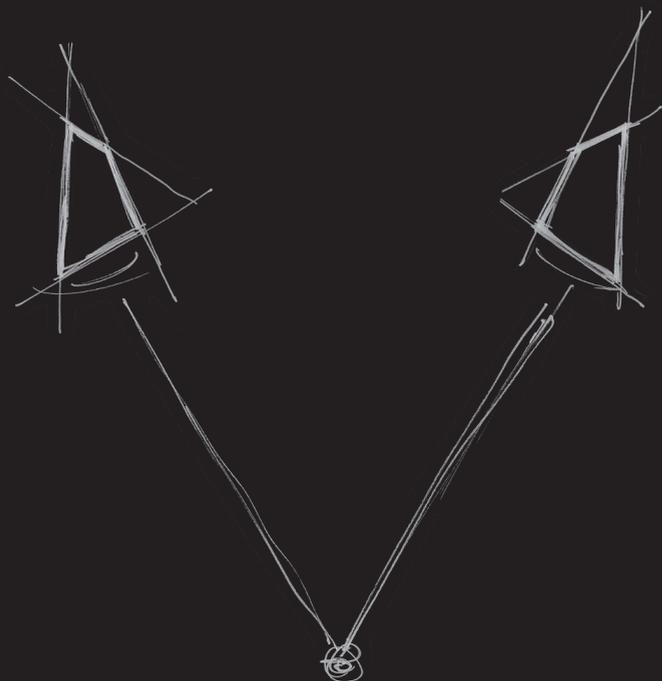
2ウェイならではのバランス

2基の高性能ドライバー・ユニットを結ぶクロスオーバー回路は、パーツ類の厳選と入念な試聴をもとに厳密極まる位相整合を経て組み上げられ、2ウェイ構成ならではのウェルバランスと音色の一体感を実現しています。

また、“Accordo”ではスタンドに設置されていたクロスオーバー回路を本体に内蔵。これにより、スタンドを使用しないセッティングも可能になり、リスニングルームの音響条件に合わせて“Accordo Goldberg”の真価をお確かめいただけます。



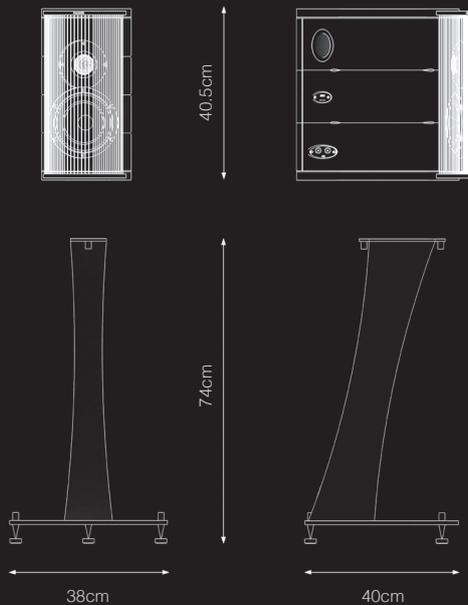
FRANCO SERBLIN®





Specifications

● 形式	2ウェイ・2スピーカー パスレフ方式ブックシェルフ型
● 使用ドライバーユニット	
高域	29mm 口径シルク・ソフト・ドーム型
中低域	180mm 口径マイクロスフィア・コーン型
● 周波数特性	39~23,000Hz
● クロスオーバー周波数	2,000Hz
● 出力音圧レベル	87dB/2.83V
● 公称インピーダンス	7Ω
● 出力端子	シングル・ワイヤリング
● 重量	12.5 kg/本(本体)、 18.8 kg(専用スタンド装着時)
● 仕上げ	ウォルナット無垢材
*専用スタンド別売	



- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますのでご了承ください。
- 弊社の定める日本国内の希望小売価格に、配送料は含まれません。

脈々と受け継がれる理想

FRANCO SERBLINブランドは、2010年、フランコ・セルブリンによって設立されました。

同年に発表された大型のフロアスタンディング・モデル“Ktema”は、セルブリンの理想を体現した作品として世界のオーディオファイルから高い評価を獲得しました。曲面を多用する、その独創的デザインと芳醇な音楽性は、翌2011年発表のブックシェルフ・モデル“Accordo”にも受け継がれます。

その後、惜しくもセルブリンは他界。稀代の名デザイナーの遺志は、娘婿であるマッシミリアーノ・ファヴェッラに託されました。ファヴェッラは、2017年、師が遺したスケッチをもとに2ウェイの美しいモデル“Lignea”を発表。セルブリンが究めた類い稀な音楽性と高度なデザイン性が確実に継承されていることを証明しました。

ファヴェッラは、自らの設計思想について、次のように語っています。それはまさに、師の思想にも通じる理念でもあります。

“私はスピーカーを一つの楽器とらえています。理想的なスピーカーは、音楽にひそむ音のニュアンスやディテール、そして情熱を伝え、かつそれらを味わう楽しみを提供する、有機的で調和のとれた表現を可能にします。理想的なスピーカーを通じて初めて、音楽は、唯一無二の体験を可能にする至高の芸術としての姿を表わすのです”

Wlaminiliano Favella



ArkGioia

株式会社アーク・ジョイア

〒112-0013 東京都文京区音羽 1-1-7 正進社ホールディングスビル4階 03-6902-0480 www.arkgioia.com